



Aichi Cancer

NPO法人 愛知がんセンターネットワーク

緩和ケア研修会

講演:午前10時~11時

大澤先生に聞いてみよう:午前11時~11時30分

オピオイド鎮痛薬を 薬理的に使い分ける!



名古屋市立大学大学院薬学研究科
中枢神経機能薬理学分野 准教授
大澤 匡弘 先生



医療用麻薬は、どれもオピオイド受容体を刺激するためオピオイド鎮痛薬と呼ばれ、特に μ オピオイド受容体に作用して効果を示します。オピオイド鎮痛薬にはモルヒネ、オキシコドン、フェンタニル、トラマドールといくつかの種類があり、今後も利用できる薬物は増えそうです。オピオイド鎮痛薬はどれも類似した受容体に作用して痛みを抑えているにも拘らず、人(個体)によって作用が大きく異なることが臨床ではよく経験されています。この臨床疑問に対する答えは、どこにあるのでしょうか。本講演では薬理的なアプローチでわかりやすく解説し、こうした疑問をすっきりと解決したいと思います。

参加費 無料

日時

平成25年1月12日(土)
午前10時~11時30分

会場

愛知県がんセンター中央病院
国際医学交流センター
大会議室

お申し込みは (名前、所属、連絡先ご記入の上)

FAX : 052-764-2934 又は

E-mail: info@aichi-cancernetwork.com

日本緩和医療薬学会認定単位 1単位

共催:ヤンセンファーマ株式会社



地下鉄
名城線「自由ヶ丘」駅から徒歩7分
基幹バス
「千種台中学校」から徒歩4分